

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		はつらつ		公表日		2025年 4月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	5	なるべくものを置かないようスペースを確保しています。	衛生面で人との距離をとったり、除菌の徹底をしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	一人一人の利用者様に常に目を向けるよう職員で共有しています。	誰かが急にパニックになったり、職員の急な欠員による時の体制をしっかりと整えていきたいです。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	4	段差があるので、職員が必ず付き添い危険が無いようにしています。	おもちゃなど片付ける場所をもっと明確に視覚化したいです。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	3	建物が古いため、狭さや段差で危険なところは声掛けをしています。	その都度、物を片付けたり子供達も移動して広さを確保し、心地良い空間にしたいです。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		クールダウンや着替えなどの時には、個別の部屋を使用しています。	全体の部屋が狭いため、不穏な利用者の確保がもう少し必要です。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	書面で共有をしていて、パート従業員にも必ず確認をしてもらっています。	出来れば、職員全体で会議や話し合える場をもう少し増やしていきたいです。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日々の連絡ノートのやり取りや送迎時などには、なるべく保護者の方のお話を聞くようにしています。	保護者の方も忙しいとは思いますが、何か変わったことがあったら、すぐに共有していきたいです。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		会議や必要に応じた共有時間を大事にしています。	話しやすい雰囲気作り、職員一人の意見に傾かないようにしていきたいです。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	職員全員で意見を出し合っています。	外部の方にも意見を聞く機会をもっと今後は増やしていきたいです。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		職員全員で集まる機会が少ないため、個々での研修を行っています。	職員全体で行う研修機会をなるべく増やしていきたいです。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	理念に添った支援プログラムを公表しています。	お子様の変化に伴い、支援プログラムも変えていきたいです。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		送迎時や電話などでお話を聞いたりしています。	職員の勉強会や研修で、いろいろな分析をする力をつけていきたいです。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	会議を行って、しっかりと話し合いをしています。	職員全員での話し合いの機会をふやしていきたいです。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	3	毎日書面での伝達をしています。	知らなかったという事がないよう、書面だけの伝達だけではなく、直接話をして気持ちを探っていけるようにしていきたいです。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	基本的なことにプラスして、日々気づきは大切にしています。	全職員への情報漏れがないよう、対策していく必要があります。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		お子様に合わせて出来るところまでの支援を設定しています。危険のないことが第一優先です。	社会との関係が持てるようなプログラムも考えていきたいです。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員会議により決定しています。	なるべく職員全員で立案の場を作れるようにしていきたいです。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		そのお子様の無理のない範囲でのプログラムの変更はあります。	同じ支援でも内容が違うように考えていきたいです。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個々に合わせて個別支援と集団支援を行っています。	個別支援が中心になってしまうお子様は、集団支援へと移行させていきたいです。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		必ず日々会議を行い、一日の流れは共有しています。	会議に参加できない職員への共有できる話合いの場を増やしていきたいです。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		日々の送迎で帰りが遅くなるため、翌日の朝に共有し、話し合っています。	職員の振り返り時間確保のため、出来れば帰りの送迎時間を早められるように組んでいきたいです。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		ご家庭との共有が出来るように複写式の連絡帳を記録にしています。	毎日の記録を職員全員で共有できるようにしていきたいです。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的に目標の達成や 等の見直しを話し合っています。	職員全員が見直すための意見を引き出していきたいです。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		柔軟な支援方法を意識しています。	はつらつ以外の人達との関われる機会を増やしていきたいです。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		理念にも掲げていますが、そこには一番力をいれています。	意思の疎通が難しいお子様には、カードやサインを使用していきます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	必ず児童発達支援管理責任者が参画しています。	どのような話合いだったのか等、もう少し情報共有をしていきたいです。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	変化があった時など、すぐに連絡できるようにしています。	事業所内外問わず、連携がなかなか難しいです。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		お便りをいただいたり、送迎時にお話を聞いたりしています。	保護者を通して、小さな出来事でも共有していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	書面ではありますが、共有しています。	直接話し合えるよう、情報共有が必要です。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2	学校からの情報と利用者様からの情報のみになりますが、提供しています。	施設見学へ行ったりして、様子を知ったり情報共有をしていきたいです。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1	機会があれば取り組むようにしています。	なかなか深く連携が取れる機会が少なかったので、今後はもう少し連携を取れるようにしていきたいです。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	夏休みや休校日に児童館などへ外出して、交流を大事にしています。	もっと交流が出来る場所を見つけていきたいです。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	参加した際は、意欲的に学べるよう向き合っています。	積極的に参加できていないので、機会があったら参加していきたいです。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		特に日々の送迎時に必要に応じて詳しい情報を共有するようにしています。	SNSなども利用して、もう少し様子を伝えられるようにしていきたいです。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5	知っている限りの大事な情報は、共有するようにしています。	研修などの機会があったら提供していきたいです。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時や保護者の方から質問された時には、きちんと回答するようにしています。	まだ利用者様によっては、きちんと説明出来ていないところもあるので、今後も確認を取ってきたいです。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		職員同士で意見を共有してから支援の開始ができています。	一つ一つの情報を全職員にきちんと共有していく時間が必要だと思います。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		丁寧な説明をして、理解への配慮が意識して出来ていると思います。	



保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		相談や悩みがあった際は、必ず職員で話し合ってからお返事するよう心がけています。	職員が研修などで様々な知識を学び、相談や悩みに向けて回答できるようにしていきたいです。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5		保護者の方が参加出来るような企画を考えたこともありましたが、お忙しい方が多く、参加できる方が少なかったため、今後も状況を見ながら決めていきたいです。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		苦情を聞いた職員から確認を取って話し合いをし、正しい状況をお伝えしています。	職員同士での連携や伝達がきちんと出来ていなくて、対応が遅れてしまわないように気をつけていきたいです。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	2	毎日のお便りで活動内容やお子様の様子を伝えています。	日々の活動や情報などをSNSなどにもう少し発信していきたいと思います。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報関連の事は外部に漏れないよう、職員全員で徹底しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		サインやジェスチャー等を活用しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	活動等の関わりあえる場では、交流を意識しています。	なかなか出来ていないので、今後もこのような場を設けていけるように検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		必要に応じた助言や訓練を行っています。	お手紙やブログなどにより、今後とも一人でも多くの利用者様に周知していただけるようにしていきたいです。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		定期的に職員には研修をして、それぞれ内容を深めてもらえるようにしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		保護者の方には、お子様の状況確認をとれるようにしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		保護者の方や職員での情報共有は意識しています。	現在はアレルギーのある利用者がいないので、今後そのようなケースになった場合は対応していきたいです。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		研修や訓練等により、職員同士での学びを意識できていると思います。	職員間での伝達漏れがないように気を付けて対応していきたいです。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		特に利用契約時には説明するようになっています。	定期的には出来ていないので、必要に応じて周知してもらえるよう取り組んでいきたいです。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		定期的に職員で内部研修をし、その都度共有するようになっています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		職員全体で意識して研修に参加しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		このようなケースが出てきた場合は、必ず立案をし、丁寧に保護者の方へ説明するようになっています。		